

# 理数科合同研修会

11月13日 秋田県総合教育センターにて秋田県全県から理数科の生徒が集まり、理数科合同研修会が行われました。

本校からは以下の2班が課題研究の成果を発表しました。

## ○対数表完成への軌跡（数学班）

**要 旨** 対数表は、1614年に数学者ネイピアによって発表されたものです。

当時電卓のようなコンピュータは存在しておらず、過去の数学者たちは膨大な

量の手計算によって数値を求めました。私たちも、実際に過去の数学者たち

が用いた計算法に近い方法で常用対数の値を求め、その苦労を経験しました。

そして、その手計算の量をできるだけ減らしつつある程度の桁数まで正確に

求めることができる方法を模索しました。

## ○大便 ～大いなる便り～（生物班）

**要 旨** うんこがどのようにして作られているのか、食べ物や各個人がもって

いる腸内細菌がうんこの状態にどのような影響を与えるのかを調べたいと思

い、研究を始めました。

条件を変えながら実験を進めていくうちに“におい”や“硬さ”などに違いが観察でき予想したとおり食べ物や腸内細菌がうんこの状態に大きく影響を与えていることがわかりました。皆さんにも便と食べ物や腸内細菌の関係について興味を持っていただけたら嬉しいです。